

HIV陽性者へのセクシュアルヘルス支援

キーワード：HIV陽性者、セクシュアルヘルス支援

領域・氏名

看護（成人看護学） 教授 / 久野暢子

概要

HIV感染者/AIDS患者（以下、HIV陽性者）へのセクシュアルヘルス支援に関する現状や課題を明らかにし、よりよい看護支援を検討する研究です。

具体的な内容

これまでHIV陽性者の方へのより良い支援を目指して、在宅療養支援や看護師への教育方法の視点から研究してきました（科研費：17791592, 21592894, 25670915, 17K12213）。その中で、HIV陽性者の方への看護支援においてはセクシュアルヘルス支援が重要であるにもかかわらず、多くの看護師が困難感を抱いていることが見え、早急に解決すべきと考えました。しかし、この「困難感」は目に見えないものであり把握しづらいため、現在、これを測定する尺度開発とそれを用いての現状解明からより良い看護支援への示唆を得るための研究を行っています。

Information（情報）

本研究は熊本大学や首都大学東京、国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センターとの共同研究です。宮崎県内で一緒に研究に取り組んでくれる方を募集しています。